

「世界に誇る都市 京都」

| | |
|--------------|--|
| 指導目標 | <p>◎京都にある多くの世界遺産や名所、名跡の歴史的な背景を調べ、その文化財としての価値に気づくことができる。</p> <p>◎市内めぐりの活動を経て、世界遺産や名所・名跡やそこを訪れていた観光客の方についてグループでまとめることができる。</p> <p>◎近年の観光客の増加に伴う、渋滞や混雑といった問題について話し合い、解決策を話し合うことができる。</p> |
| 公共交通を教材とする利点 | <p>1200 年以上の歴史があり、世界遺産等の名所が多く存在する自分たちのまちの魅力について、観光客の目線で調査し、考えることで、観光客の増加によって起こっている問題を理解し、公共交通機関を利用し歩いてまちをめぐることによって、それらの問題を解決する方法を考え、環境問題についても気づくことができる。</p> |
| 対象学年 | 6 年生 |
| 対応教科 | 総合的な学習の時間 |
| 標準校時 | 40 コマ |
| 学習構成 | <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">1. 京都の魅力について考える</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが思う京都の魅力と、観光客の視線での京都の魅力を考え、比較する。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">2. 観光客が訪れる世界遺産や名跡</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が訪れる世界遺産や名跡について話し合い、観光客が訪れていることを調査する方法を考える。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">3. 市内めぐりをする</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図を用いて、市内めぐりの交通手段や範囲を確認し、訪れたい名跡を話し合い、計画を立てる。訪れる世界遺産や名跡を図書資料やパソコンで調べる。 ・実際に市内めぐりをして、歴史や文化に触れるとともに、そこを訪れる人々に目を向ける。 ・市内めぐりで訪れた場所・訪れていた人々・歴史等をまとめる。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">4. 市民と観光客が共に利用しやすい移動システムを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの観光客で市民がバスに乗ることができないという問題があることから、市民と観光客が共に市バスを利用しやすいシステムを考える。 </div> |

【学習指導案】

総合的学習の時間 指導案

1. 日 時 平成29年11月24日(金) 第6校時(14:30~15:15)
2. 場 所 6年1組
3. 学年・組 第6学年1組 (男子12名, 女子7名)
4. 単 元 名 「世界に誇る都市 京都」
5. 単元の目標
 - (1) 京都にある多くの世界遺産や名所・名跡の歴史的な背景を調べ、その文化財としての価値に気付くことができる。
 - (2) 市内めぐりの活動を経て、世界遺産や名所・名跡やそこを訪れたていた観光客の方についてグループでまとめることができる。
 - (3) 近年の観光客の増加に伴って、渋滞や混雑といった問題点について話し合い、解決策を話し合うことができる。
6. 単元について

本校では総合的な学習の時間を通して、地域の人・自然・社会の関わり、自ら課題を設定し、課題解決に向け主体的に活動しようとする力を育むことをねらいとしている。また、協同的な学びを通して、考えを深めたり確かにしたりしながら、自分の思いをまとめ、表現する力を育むようにする。

本単元では近年、京都には多くの観光客の方が国内外から訪れていることを受け、京都は国内だけでなく世界中から注目されている都市であることを認識し、自分たちがそのような都市に住んでいることを誇りに感じてほしい。また、京都が世界に誇る多くの名所・名跡や世界遺産を市内めぐりで訪れることで、その素晴らしさや歩んできた歴史を実際に肌で感じる機会をもつようにしたい。そして、それらの素晴らしさを次の世代である校内の下級生に発信していけたらと考える。

しかし、多くの観光客が訪れるという喜ばしいことの反面、一時的な人口増加に伴って起こるマナー違反や交通渋滞などが深刻な問題になっていることにも目を向けさせなければならない。特に市バスの利用に関しては海外から訪れる観光客が大きなスーツケースを抱えたまま乗車したり、名所・名跡や世界遺産付近のバス停では大勢の方が乗り降りしたりすることによって生じるダイヤの乱れなどが挙げられている。市民の交通手段として大きな役割を果たしてきた市バスに乗り、観光都市である京都が抱える課題を感じてほしいと考える。

7. 児童について

8. 指導計画

| 時 | 学習内容 | 学習活動 |
|-------|-------------------------------|--|
| 1 | ○京都の魅力について考える。 | ・自分たちが思う京都の魅力について話し合う。 |
| 2 | ○観光客の視線で京都の魅力を考える。 | ・観光客は京都にどんな魅力をもち訪れているか想像し話し合う。 |
| 3 | ○自分たちと観光客が考える魅力を比較する。 | ・自分たちが思う京都の魅力と観光客が思う魅力を比べ、同じ部分や違う部分に目を向け話し合う。 |
| 4 | ○観光客が訪れる世界遺産や名跡を考える。 | ・観光客が訪れていると思う世界遺産や名跡について話し合う。 |
| 5 | ○京都の世界遺産や名跡を調べる。 | ・京都にはたくさんの世界遺産や名跡があることを資料集などで確認する。 |
| 6 | ○世界遺産や名跡には多くの観光の方が訪れているのか考える。 | ・前時で確認した世界遺産や名跡には本当に多くの観光客が訪れているのか経験をもとに話し合う。 |
| 7 | ○前時の仮説の調査方法を考える。 | ・世界遺産や名跡に観光客が訪れていることを調査する方法を考える。 |
| 8 | ○市内めぐりの交通手段や範囲を確認する。 | ・地図を用いて市内めぐりの交通手段や範囲を確認する。 |
| 9～10 | ○市内めぐりの計画を立てる。 | ・市内めぐりで訪れたい名跡を話し合い、計画を立てる。 |
| 11～17 | ○訪れる世界遺産や名跡について調査する。 | ・計画の中の世界遺産や名跡を図書資料やパソコンを使用して調べる。 |
| 18 | ○校外学習での注意を確認する。 | ・市内めぐりに出るに当たっての注意事項を確認する。 |
| 19～24 | ○市内めぐりを実行する。 | ・市内めぐりで世界遺産や名跡を訪れ、歴史や文化に触れるとともにそこを訪れる人々に目を向ける。 |
| 25～26 | ○市内めぐりをふり返る。 | ・市内めぐりを行っての感想や感じたことを個人でまとめる。 |
| 27 | ○グループでまとめる方法を考える。 | ・市内めぐりで訪れた場所・訪れていた人々・歴史的なこと等をグループでまとめる方法を考える。 |
| 28～33 | ○グループでまとめる。 | ・市内めぐりで訪れた場所・訪れていた人々・歴史的なこと等をまとめる。 |
| 34 | ○学級で交流会をする。 | ・グループでまとめたことを発表し交流する。 |
| 35 | ○学級討論会への意識を高める。 | ・市バス乗車の経験から「観光するなら市バスがいい」という題材で討論することを知る。 |

| | | |
|------------|--------------------------|---|
| 36 | ○学級討論会をする。 | ・題材に対して立場を明らかにして学習討論会を行う。 |
| 37 | ○「歩く街京都」の取り組みを知る。 | ・京都が抱える課題について話し合う。 |
| 38 | ○新たな移動システムを個人で考える。 | ・討論会での主張や意見を踏まえ、市民と観光客の双方にとって、よりよい移動システムを考える。 |
| 39 (本時) | ○新たな移動システムをグループでまとめ発表する。 | ・個人で考えた移動システムをもとにグループで話し合い発表する。 |
| 40 | ○単元のふり返しをする。 | ・学習の振り返りをして、京都の世界が誇る都市であることに気付こう。 |

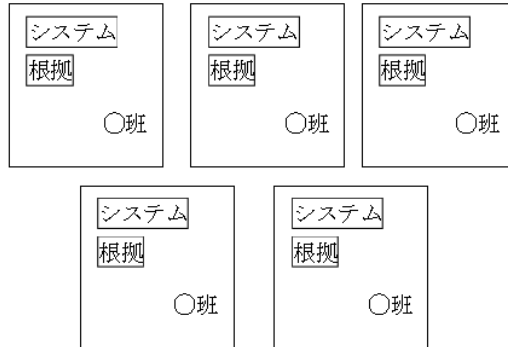
12. 板書計画

世界に誇る都市 京都

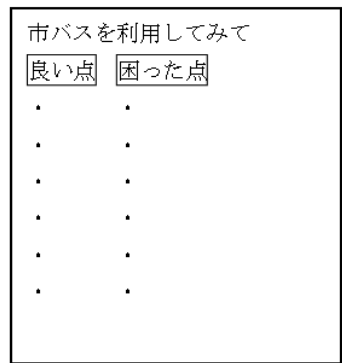
「市民」と「観光客」が利用しやすい移動システムをグループで考え発表しよう。

学習の流れ

- ・グループ交流
- ・グループ学習
- ・全体交流
- ・まとめ



テレビ画面 壁面



9. 本時における生徒指導の3機能は非公開

10. 本時の目標

京都市民と観光客が共に市バスを利用しやすい移動システムを考え発表することができる。

11. 本時の展開

| 学習活動 | ○支援 ・留意点 | 評価 |
|---|--|---|
| <p>1. 前時までのふり返りをする。</p> <p>2. 本時のめあて、学習内容を確認する。</p> | <p>・観光客が増えることで生じる課題と恩恵の両方をもう一度おさえるようにする。</p> <p>・本時の学習の流れを確認し、45分間の見通しを持てるようにする。</p> | |
| <p>「市民」と「観光客」が利用しやすい移動システムをグループで考え発表しよう。</p> | | |
| <p>3. 前時に個人で考えた市民と観光客双方のための移動システムをグループで交流する。</p> <p>4. 交流した移動システムをもとにグループで市民と観光客双方のため、よりよい移動システムを考える。</p> <p>5. 全体で交流する。</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> | <p>・話し合いは全員に役割があることを伝える。</p> <p>・グループの考えはアイデアと根拠を記入するように促す。</p> <p>○話し合いが進まないグループに対して個別にアドバイスをする。</p> <p>・交流の時の発表者と聞き手、それぞれの注意点を確認し、交流がスムーズに行われるように声をかけるようにする。</p> <p>・自分たちの考えを周囲に発信していく方針を伝え、単元のまとめに向かう意識を高めるようにする。</p> | <p>・グループで協力して市バスを中心とした新しい移動システムを考え発表することができる。</p> |

【板書計画】

世界に誇る都市 京都

「市民」と「観光客」が利用しやすい移動システムをグループで考え発表しよう。

学習の流れ

- ・グループ交流
- ・グループ学習
- ・全体交流
- ・まとめ

システム
根拠
○班

システム
根拠
○班

システム
根拠
○班

システム
根拠
○班

システム
根拠
○班

